

平成21年度

地域密着型金融のうち、金融機関が共通して取り組む3分野についての取組状況

取組事項	具体的施策	平成21年4月～平成22年3月取組状況
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化		
(1) 創業・新事業支援機能強化への取組み		
起業・事業展開に資する資金・情報等の提供	① 創業・新事業相談の充実、セミナー等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業・新事業支援に積極的に取り組み、当金庫独自商品「近江翔人」や制度融資の利用促進に努めました。 創業・新事業支援融資実績 平成21年度 9件 41百万円</li> <li>お取引先より新事業立上げ計画についての相談を受け、経営コンサルタントを紹介するなど支援の充実・強化に取り組みました。</li> </ul>
	② 政府系金融機関との協調融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>協調融資の案件発掘に努め、積極的に対応していく方針です。</li> </ul>
	③ 「融資審査ガイド」システムの積極的活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年1月に、「融資審査ガイド」のデータを更新するなど、審査能力のより一層の向上に努めています。</li> </ul>
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能強化への取組み		
取引先企業に対する経営支援機能の強化	① 若手経営者の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい時代の環境に適応できる企業経営の支援を目的として、平成20年1月に開塾した「ながしん経営塾」は、3期目を迎え、新たな受講者の参加のもと、隔月に経営コンサルタント等を招いた勉強会の開催や異業種交流の場として意義ある塾となるよう努めています。 「第2期ながしん経営塾」 期間：平成21年2月～10月 受講者：38名 勉強会：5回開催 「第3期ながしん経営塾」 期間：平成22年2月～10月 受講者：36名 勉強会：5回開催予定</li> <li>平成21年7月「経営革新セミナー」の開催 講師：河合 保弘氏(企業再建・承継コンサルタント協組) テーマ：「経営改善とキャッシュフロー経営を目指して」 参加者：35名</li> </ul>

取組事項	具体的施策	平成21年4月～平成22年3月取組状況
取引先企業に対する経営支援機能の強化	② 取引先経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業店と本部専担部署が連携しながら、お取引先の経営改善支援に努めています。 平成21年度 新規経営改善支援先 10先 平成15年度～平成21年度 経営改善支援先 延べ80先 詳細は別紙①、②のとおり。</li> </ul>
	③ 財務診断サービスの配布（目標、年間250先）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成21年度においても、お取引先267先に提供するなど継続して財務改善支援に取り組みました。 (目標達成率 106.8%)</li> </ul>
	④ 支援先への定期的なモニタリングの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援先毎に定期的にモニタリングを実施し、動向の把握を行っています。</li> </ul>
	⑤ 既支援先に対する継続支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成21年度においても、既支援先（4先）に対して経営改善計画を再策定し、支援に努めました。</li> </ul>
コンサルティング機能及び情報提供機能の一層の強化	① ビジネスマッチング、各種施策の提案及び利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当金庫の呼びかけでお取引先企業のエコ新商品・技術を紹介するビジネスマッチングを開催し、9社より14名ご参加いただきました。 今後も継続して開催していく方針です。</li> <li>・ 「しんきんビジネスマッチングサービス」への情報登録。 平成22年3月末現在累計 延べ17先、27件</li> </ul>
	② ふれ愛ネット通信等による地域、商品情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信金中金による団体旅行の誘致先として、当地の情報（宿泊・お食事処・観光スポット等）を紹介しました。</li> <li>・ 「しんきんふれ愛ネット通信」を通じて、地域及び商品情報の発信に努めています。 平成21年度 ホームページふれ愛ネット掲載 1件</li> </ul>
事業承継先への支援	① 専門家との帯同訪問による事業承継指導、支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お取引先企業の要望に応じて、提携している経営コンサルタント等と連携し、事業継承や各種経営相談等の課題についての個別相談・指導に取り組んでいます。</li> </ul>

取組事項	具体的施策	平成21年4月～平成22年3月取組状況
<b>(3) 事業再生に向けた積極的な取組み</b>		
外部機関の事業再生機能の一層の活用	① 中小企業再生支援協議会の積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 滋賀県中小企業再生支援協議会とは、引き続き事後モニタリングの実施、連絡会議への参加を通じ連携強化を図っています。</li> </ul>
	② 外部機関や専門家の事業再生機能の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お取引先企業の経営改善に向け、中小企業診断士を紹介し、改善計画策定に取り組むなど経営改善支援の充実に努めました。</li> <li>・ 中小企業診断協会滋賀県支部と相互協力し、お取引先の経営支援を行うことを目的として業務連携協力の締結を行いました。</li> </ul>
<b>2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</b>		
<b>(1) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進</b>		
企業の技術・将来性等事業価値を見極めた担保・保証に過度に依存しない融資の推進	① 動産・債権譲渡担保融資、ABL保証等の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売掛債権担保融資の利用促進等資金供給手法の多様化に努めています。 「売掛債権担保融資」取扱い実績 平成21年度 件数 1件 極度額 3百万円</li> </ul>
	② 信用格付に基づく融資手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入に向け作業を進めています。</li> </ul>
<b>(2) 資金供給手法の多様化</b>		
事業の将来性・返済能力等に着目した金融支援	① 県制度融資、シンジケートローンなどの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県制度融資等の活用により取引先企業の資金繰り支援等に取り組みました。 「県制度融資」取扱い実績 平成21年度 融資額 1,458百万円</li> </ul>
<b>(3) 人材の育成</b>		
目利き能力養成等融資審査能力の向上	① 外部専門講座への派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成21年度人事教育事業計画に基づき、外部専門講座への派遣等融資審査能力の向上に努めています。</li> </ul>
	② 内部勉強会の実施及びOJTの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の融資案件の取扱いによるOJTに力を入れ、「現場力の強化」に取り組んでいます。</li> </ul>

取組事項	具体的施策	平成21年4月～平成22年3月取組状況
目利き能力養成等融資審査能力の向上	③ 公的資格取得・各種通信講座及び検定試験の奨励	・ 各種通信講座及び検定試験を案内し、積極的なチャレンジを奨励しています。
<b>3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</b>		
<b>(1) 地域活性化に向けた地域と一体となった取組みの推進</b>		
地域経済の活性化に向けた各種事業への参画	① 街づくり事業への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>「長浜市中心市街地活性化基本計画」の国の認定に伴い、計画実施機関として「長浜まちづくり株式会社」（平成21年8月）が設立され、当金庫も発起人として出資（5百万円）し、今後の事業展開に協力していく方針です。</li> <li>平成22年1月、長浜市、アフラック社及び当金庫との3者による「がん検診受診率向上プロジェクト提携」に調印しました。</li> </ul>
	② 長浜みらい産業プラザ、バイオビジネス創出研究会等との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>長浜みらい産業プラザ、バイオビジネス創出研究会等の交流会への出席を通じて、情報交換に努めています。</li> </ul>
<b>(2) 金融サービスの提供</b>		
取引先の資産形成・運用・管理等のアドバイス	① 各種相談会、セミナー等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金及び休日ローン相談会等の継続的な開催を通じて、地域の利用者の利便性向上に努めました。 平成21年度実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>年金相談会 28回開催 ご相談者 563人</li> <li>休日ローン相談会 50回開催 ご相談者 66組</li> </ul> </li> <li>外部講師を招いて資産運用セミナーを開催しました。 9月8日 木之本支店、9月9日 本店</li> </ul>
<b>(3) 地域貢献活動</b>		
地域に根ざした支援活動	① 各種団体のイベント協賛、後援	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における各種のイベントや当金庫独自のスポーツ、文化活動にも積極的に支援してきました。 平成21年度実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>5月 びわ湖長浜ツアーデーマーチに協賛</li> <li>6月 第16回長浜信用金庫理事長杯争奪少年野球大会を後援</li> <li>7月 第11回長浜・湖北ママさんバレーボール大会に協賛</li> <li>9月 湖北地区親善ゲートボール大会に協賛</li> <li>11月 珠算競技大会に協賛 等</li> </ul> </li> </ul>

取組事項	具体的施策	平成21年4月～平成22年3月取組状況
<p>地域に根ざした支援活動</p>	<p>② 講演会、金融教育、セミナー等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ながしん講演会」の開催 開催日：平成21年10月10日 講師：青山 繁晴氏 テーマ：「日本の希望が目覚める」</li> <li>・ 平成21年11月、大学ゼミ教育の一環として、滋賀大学経済学部生（原村ゼミ）が来訪され、理事長が当金庫の経営方針、事業活動等について講義いたしました。また同月、湖北珠算暗算競技大会の席上、小学生（約100名）を対象に金融に関するビデオ（製作：金融広報委員会）の上映を行うなど金融広報にも努めました。</li> </ul>

## 経営改善支援の取組み実績

長浜信用金庫

【平成21年4月～平成22年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取 組み先 α	αのうち期末に債 務者区分がランク アップした先数 β	αのうち期末に債 務者区分が変化し なかった先 γ	αのうち再生計画を 策定した先数 δ	経営改善支援取 組み率 =α / A	ランクアップ率 =β / α	再生計画策定率 =δ / α
正常先 ①	997	3		1	1	0.30%		33.33%
要注意先 うちその他要注意先 ②	261	11	0	11	9	4.21%	0.00%	81.82%
うち要管理先 ③	18	2	1	1	0	11.11%	50.00%	0.00%
破綻懸念先 ④	27	0	0	0	0	0.00%	-	-
実質破綻先 ⑤	26	0	0	0	0	0.00%	-	-
破綻先 ⑥	11	0	0	0	0	0.00%	-	-
小計(②～⑥の計)	343	13	1	12	9	3.79%	7.69%	69.23%
合計	1,340	16	1	13	10	1.19%	6.25%	62.50%

注) ・期初債務者数及び債務者区分は21年4月当初時点で整理

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。

・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めない。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含める。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。

・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。

・みなし止常先については止常先の債務者数に計上。

・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

## 経営改善支援の取組み実績

長浜信用金庫

【平成15年4月～平成22年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取 組み先 α				経営改善支援取 組み率 =α / A	ランクアップ率 =β / α	再生計画策定率 =δ / α
			α のうち期末に債 務者区分がランク アップした先数 β	α のうち期末に債 務者区分が変化し なかった先 γ	α のうち再生計画を 策定した先数 δ			
正常先 ①	1,159	37		5	31	3.19%		83.78%
要 注 意 先								
うちその他要注意先 ②	237	28	2	21	24	11.81%	7.14%	85.71%
うち要管理先 ③	49	11	5	3	10	22.45%	45.45%	90.91%
破綻懸念先 ④	25	4	3	0	4	16.00%	75.00%	100.00%
実質破綻先 ⑤	23	0	0	0	0	0.00%	-	-
破綻先 ⑥	15	0	0	0	0	0.00%	-	-
小 計(②～⑥の計)	349	43	10	24	38	12.32%	23.26%	88.37%
合 計	1,508	80	10	29	69	5.31%	12.50%	86.25%

注) ・期初債務者数及び債務者区分は15年4月初時点で整理

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。

・β には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はα に含めるもののβ に含めない。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβ に含める。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。

・γ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上。

・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」